



# 2023年3月期 第3四半期 決算説明資料

**WORKS for your dreams!**

楽しく生き活きと働き、夢を実現できる社会を

2023.2.3

東証スタンダード 6032

## 1 経営成績・財政状態

- トピックス
- 業績ハイライト
- 業績比較およびセグメント概況
- 財政状態
- 業績予想および配当予想

## 2 セグメント別比較および概況

- メディア&ソリューション事業
- 人材紹介事業
- 採用支援事業

## 3 Appendix

## トピックス

### 全社

## 前年同期比で増収減益。

#### M&S事業

### 減収減益。製造業の回復遅れが影響。

- 自動車の生産回復等に伴い、業容は回復すると捉える。
- 市況の好転時に備え、新規顧客開拓や集客力向上等の諸施策を実施。

#### 人材紹介事業

### 増収増益。引き続き事業をスケールアップ。

- 市場を睨みコンサルタントを増員しつつ、高生産性トレンドを継続。
- 成約単価を維持し、成約件数は拡大トレンドを継続。

#### 採用支援事業

### 増収増益。採用代行サービス伸長、構造改革が功を奏す。

- 採用代行サービスが伸長。
- 事業構造改革の継続により改善された収益体質を維持。

## 業績ハイライト

セグメント 情報	業績	<p>前年同期比で増収減益。</p> <p>売上高：2,125百万円(+405百万円 123.6%)</p> <p>営業利益：205百万円(+1百万円 100.7%)</p> <p>経常利益：208百万円(▲32百万円 86.5%)</p> <p>純利益：142百万円(▲7百万円 95.3%)</p>	<p>○製造業の回復遅れによりM&amp;S事業が影響を受けたため、人材紹介事業が当社事業の柱の一つとして成長を継続し、採用支援事業も伸長したものの、前年同期比で増収減益。</p>
	M&S 事業	<p>前年同期比で減収減益。</p> <p>売上高：765百万円(▲111百万円 87.4%)</p> <p>営業利益：▲139百万円(▲222百万円 -)</p>	<p>○製造業の回復が遅れ、業績に影響。</p> <p>○自動車の生産回復等に伴い、業容は回復すると捉える。</p> <p>○市況の好転時に備え、新規顧客開拓や集客力向上等の諸施策を実施。</p>
	人材紹介 事業	<p>前年同期比で増収増益。</p> <p>売上高：1,097百万円(+346百万円 146.1%)</p> <p>営業利益：326百万円(+183百万円 228.3%)</p>	<p>○市場を睨みコンサルタントを増員しつつ、高生産性トレンドを継続。</p> <p>○成約単価を維持し、成約件数は拡大トレンドを継続。</p>
	採用支援 事業	<p>前年同期比で増収増益。</p> <p>売上高：263百万円(+170百万円 281.5%)</p> <p>営業利益：18百万円(+2百万円 116.9%)</p>	<p>○採用代行サービスが伸長。</p> <p>○事業構造改革の継続により改善された収益体質を維持。</p>
業績・配当予想		<p>業績予想：売上高2,850百万円、営業利益341百万円、経常利益342百万円、当期純利益232百万円に修正。</p> <p>配当予想：15円[配当性向62.5%] ※2022年5月13日付の決算短信での公表内容から変更なし。</p>	

※2022年3月期3Q累計は、個別決算数値を表示しております。

※カッコ内は前年同期比。

## 業績比較

前年同期比で売上高が123.6%、営業利益が100.7%、純利益が95.3%と増収減益。

(単位:百万円)

	2022年3月期 第3四半期累計		2023年3月期 第3四半期累計		増減額	前年同期比
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	1,720	100.0%	2,125	100.0%	+ 405	123.6%
売上原価	363	21.1%	598	28.1%	+ 235	164.6%
売上総利益	1,357	78.9%	1,527	71.9%	+ 170	112.6%
販売費及び一般管理費	1,152	67.0%	1,321	62.2%	+ 169	114.7%
営業利益	204	11.9%	205	9.7%	+ 1	100.7%
経常利益	240	14.0%	208	9.8%	△ 32	86.5%
純利益	149	8.7%	142	6.7%	△ 7	95.3%

## 業績比較(セグメント概況)

前年同期比で、M&S事業は減収減益、人材紹介事業および採用支援事業は増収増益。

(単位:百万円)

	2022年3月期 第3四半期累計		2023年3月期 第3四半期累計		増減額	前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比		
<b>売上高</b>	<b>1,720</b>	<b>100.0%</b>	<b>2,125</b>	<b>100.0%</b>	<b>+ 405</b>	<b>123.6%</b>
M&S事業	876	50.9%	765	36.0%	△ 111	87.4%
人材紹介事業	751	43.6%	1,097	51.6%	+ 346	146.1%
採用支援事業	93	5.4%	263	12.4%	+ 170	281.5%
<b>営業利益</b>	<b>204</b>	<b>100.0%</b>	<b>205</b>	<b>100.0%</b>	<b>+ 1</b>	<b>100.7%</b>
M&S事業	83	40.7%	△ 139	-	△ 222	-
人材紹介事業	143	70.0%	326	158.6%	+ 183	228.3%
採用支援事業	16	7.8%	18	9.0%	+ 2	116.9%

※2022年3月期3Q累計は、個別決算数値を表示しております。各事業のセグメント利益のほか、子会社取引に伴う調整額が存在します。

## 財政状態

自己資本比率87.1%と、財務基盤は引き続き安定。

(単位:百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)		当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)		増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
資産	2,458	100.0%	2,298	100.0%	△ 160
流動資産	1,691	68.8%	1,640	71.4%	△ 51
現金及び預金	1,348	54.9%	1,375	59.8%	+ 27
固定資産	767	31.2%	658	28.6%	△ 109
負債	463	18.8%	296	12.9%	△ 167
流動負債	463	18.8%	296	12.9%	△ 167
固定負債	—	—	—	—	—
純資産	1,995	81.2%	2,002	87.1%	+ 7
自己資本比率	—	81.2%	—	87.1%	+ 5.9pt

## 業績予想

売上高2,850百万円(前期比112.8%)、営業利益341百万円(同102.7%)、経常利益342百万円(同92.1%)、当期純利益232百万円(同86.5%)の増収減益に予想を修正。

単位：百万円	2022年3月期 ＜実績＞	2023年3月期 ＜修正前業績予想＞	2023年3月期 ＜修正後業績予想＞	対前年比 ＜金額＞	対前年比 ＜率＞
売上高	2,525	3,300	2,850	+ 325	112.8%
営業利益	332	500	341	+ 9	102.7%
経常利益	371	500	342	△ 29	92.1%
当期純利益	268	340	232	△ 36	86.5%

※ 上表における2022年3月期実績は個別(単体)経営成績です。

人材紹介事業や採用支援事業は堅調ながらも、メディア&ソリューション事業を取り巻く製造業における原材料コスト高、部材調達難、及び自動車等の減産からの市場回復が遅く、通期業績予想を下方修正しております。しかしながら、今後、国内半導体製造の拡大や部品調達制約の緩和に伴う自動車等の生産回復も見込まれており、当社では生産回復等に伴い業容は回復すると捉えております。



## 配当予想

- 2023年3月期(33期)の配当金は15円を予想(配当性向62.5%)。
- 2022年5月13日付の決算短信での公表内容から変更なし。

### ▶ 利益配分に関する基本方針

当社の配当は株主各位への利益の還元を重視しつつ、将来的な成長戦略などを総合的に勘案して決定しております。

		年間配当金	配当性向
2023年3月期 (33期)	見込	普通配当 15円	62.5%
2022年3月期 (32期)	実績	普通配当 15円	54.1%

## 1 経営成績・財政状態

- トピックス
- 業績ハイライト
- 業績比較およびセグメント概況
- 財政状態
- 業績予想および配当予想

## 2 セグメント別比較および概況

- メディア&ソリューション事業
- 人材紹介事業
- 採用支援事業

## 3 Appendix

## メディア&ソリューション事業 [事業概要]

### 事業内容

- 求人メディアとしての求人サイトの広告販売。

### 特徴

- 主力サービスである「工場ワークス」は、製造業に特化した求人情報を掲載するサイト。
- 人材ビジネス企業及び製造メーカーが主要な顧客。
- メディアの収入は主に月単位の広告掲載料。



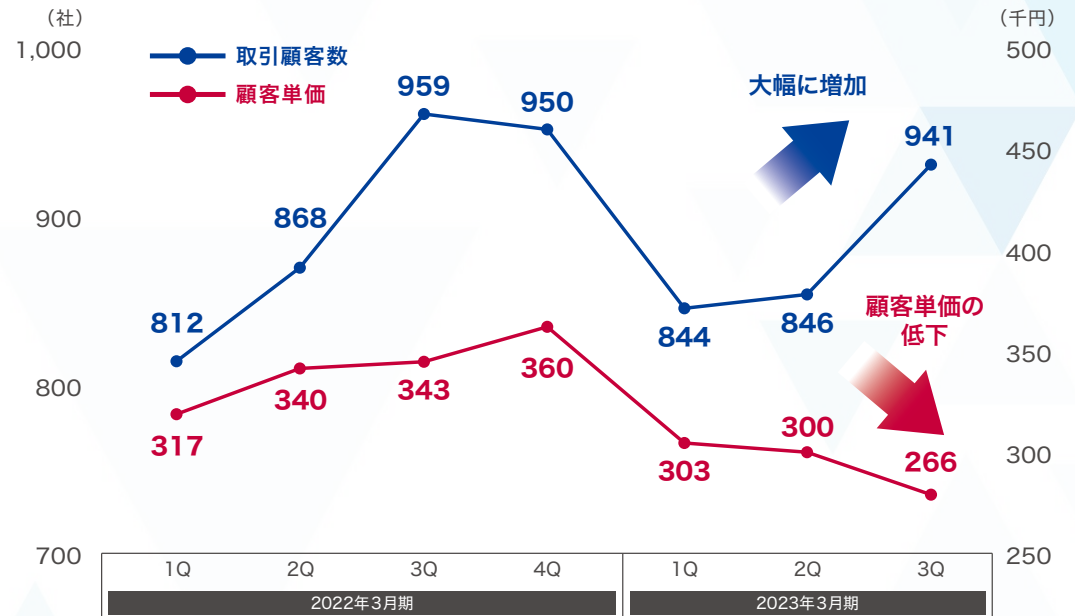
## メディア&ソリューション事業 [ 営業指標 ]

- 自動車分野を中心とした製造業の回復が遅れ、求人掲載件数は第2四半期に比して概ね横ばい。
- 新規顧客開拓が堅調であるため、アカウント数は大幅に増加。
- 高単価取引企業の減少に伴い、平均顧客単価は第2四半期に比して低下。

### 工場ワークス求人掲載数



### 工場ワークス 取引顧客数・顧客単価

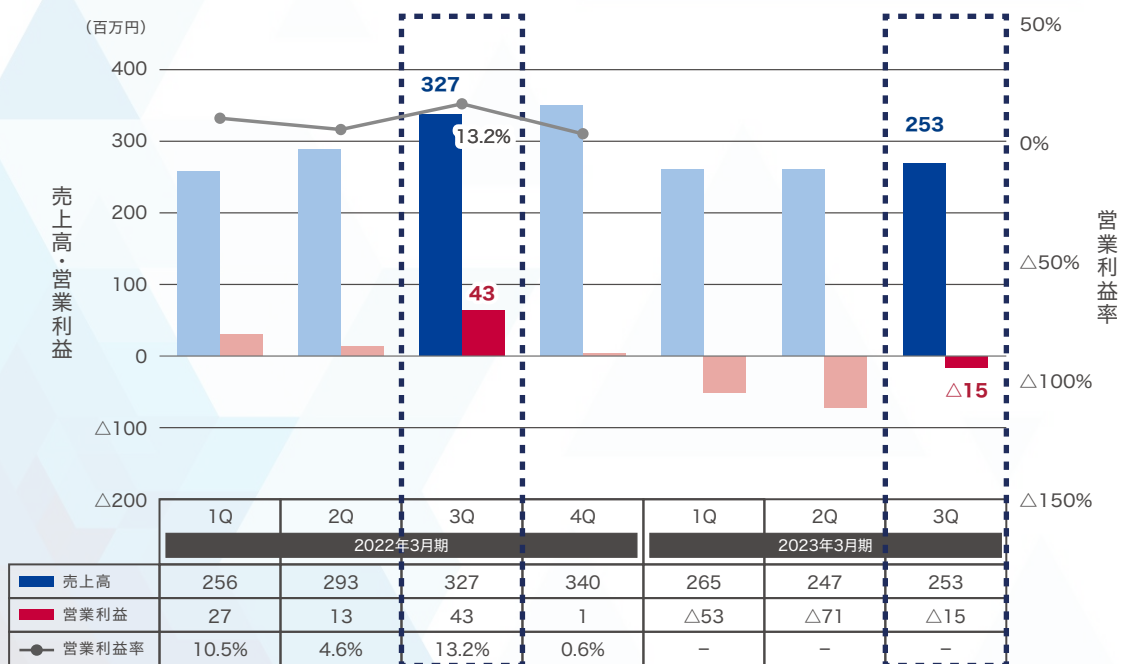


## メディア&ソリューション事業 [業績]

### 業績(前年同期比)

単位:百万円		2022年3月期 3Q	2023年3月期 3Q	増減額	前年同期比
M&S事業	売上高	876	765	△111	87.4%
	営業利益	83	△139	△222	—

### 業績推移(四半期ごと)



### 前年同期比で減収減益。

売上高：▲111百万円(87.4%)

営業利益：▲222百万円( — )

- 製造業の回復が遅れ、  
当社の主要クライアントである  
製造領域の派遣業などが停滞し、業績に影響。
- 今後、国内半導体製造の拡大や  
部品調達制約の緩和に伴う自動車等の  
生産回復も見込まれており、  
生産回復等に伴い業容は回復すると捉える。
- 市況の好転時に備え、  
新規顧客開拓や集客力向上等の諸施策を実施。

# メディア&ソリューション事業 [業績向上施策の概要]

業績向上に向けた「工場ワークス」の取り組みとして、  
チャンネル多角化、導線強化、顧客連携強化などを目的とした諸施策を展開し、集客力の向上を図っている。

## 集客力の向上施策

### ■オフラインチャネルの追加

ハローワーク、教習所等のオフラインチャネルの開拓



### ■ユーザー目線での導線強化

ターゲットユーザー別に導線ページを多様化



### ■SNSチャネルの強化

SNSからの流入数が大幅増加

Twitter



Youtube



Tiktok



Instagram



### ■工場タイムズによる顧客連携の強化



自社メディア「工場タイムズ」での顧客連携によるコンテンツ拡充。

→ リニューアルにより工場ワークスとの大幅な連携強化による流入増を図る。

## 人材紹介事業 [ 事業概要 ]

### 事業内容

- 職業安定法に基づく有料職業紹介事業。

### 特徴

- 求人企業の中核を担う「ミドルマネジメント」から「エグゼクティブ」ならびに即戦力で活躍が可能な業界専門職といった高付加価値人材がターゲット。
- 求人企業に対してコンサルタントを通じて求職者を紹介し、その求職者の就業開始をもって手数料を求人企業から受領。

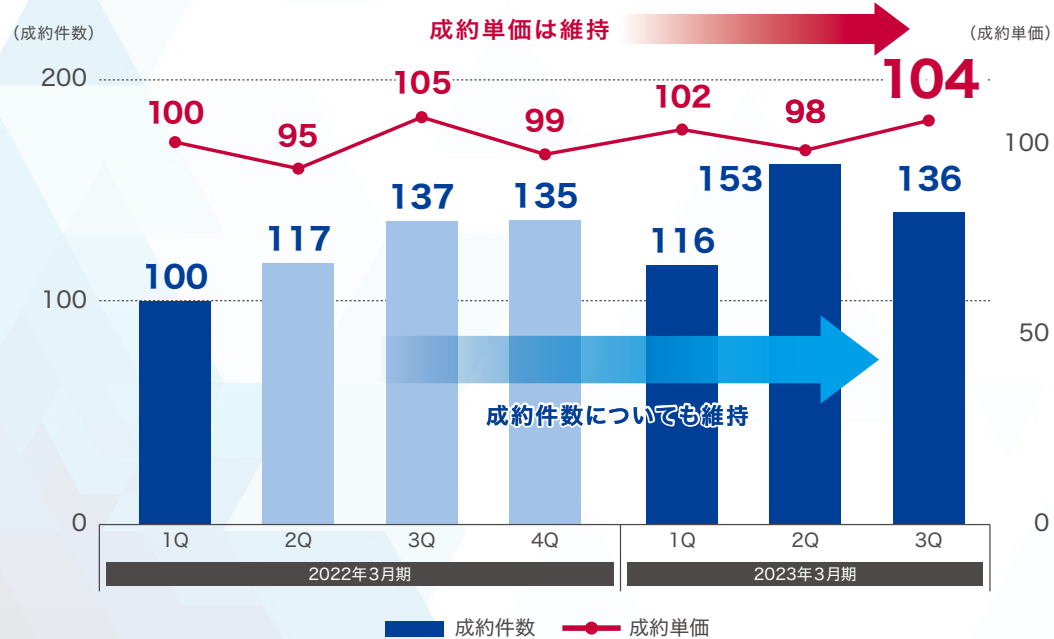


## ■ 人材紹介事業 [ 営業指標 ]

- 成約件数・単価は前年同期並みであるが、第3四半期後半には当年度最多の月間成約件数を達成し拡大トレンドを継続。
- コンサルタント増員等に伴い、1人あたり成約額は一時的に減少するも高生産性トレンドを継続。

### ➤ 成約件数・成約単価

2022年3月期1Qを100とした場合の指数



### ➤ コンサルタント1人あたり成約額 (=生産性) 比較

2022年3月期1Qを100とした場合の指数



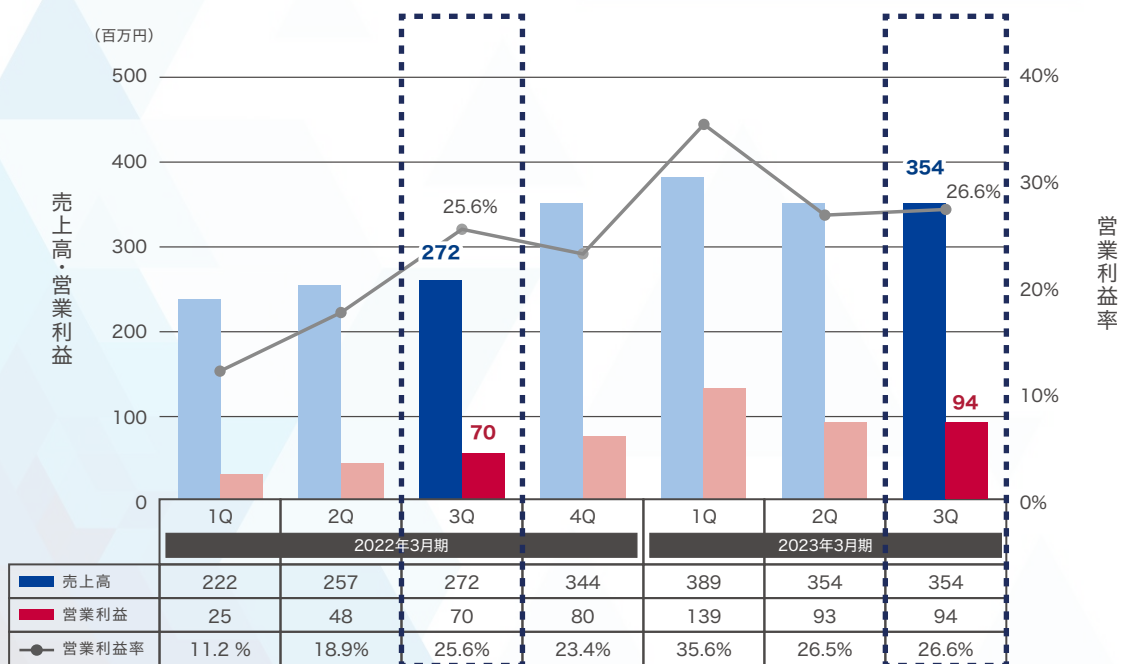


## 人材紹介事業 [業績]

### 業績(前年同期比)

単位:百万円		2022年3月期 3Q	2023年3月期 3Q	増減額	前年同期比
人材紹介事業	売上高	751	1,097	+ 346	146.1%
	営業利益	143	326	+ 183	228.3%

### 業績推移(四半期ごと)



### 前年同期比で増収増益。

売上高：+346百万円(146.1%)  
営業利益：+183百万円(228.3%)

- 市場を睥んだコンサルタントの増員により、増収。
- 成約単価を維持し、成約件数は拡大トレンドを継続。
- KPIマネジメントや  
セクター別チーム戦略等の定着化により、  
1人あたり成約額は高生産性トレンドを継続。
- 3Q後半の成約実績から、  
4Qの業績も堅調と見込まれる。

## 採用支援事業 [ 事業概要 ]

### 事業 内容

▲ 採用アウトソーシング事業。

▲ 企業の新卒・中途の採用活動に関わる業務を、ニーズに合わせて請負う。

採用活動の代行は、一度受注したら企業の採用活動に深く入り込むため、繰り返し契約される傾向が強い。  
顧客の採用計画が活況な場合は、間断なく取引できる点が特徴。

### 特徴

▲ 自社メディアや求人ポータルサイトを利用した採用母集団形成のためのプロモーション業務。  
会社説明会の企画・運営、選考、内定者フォロー etc

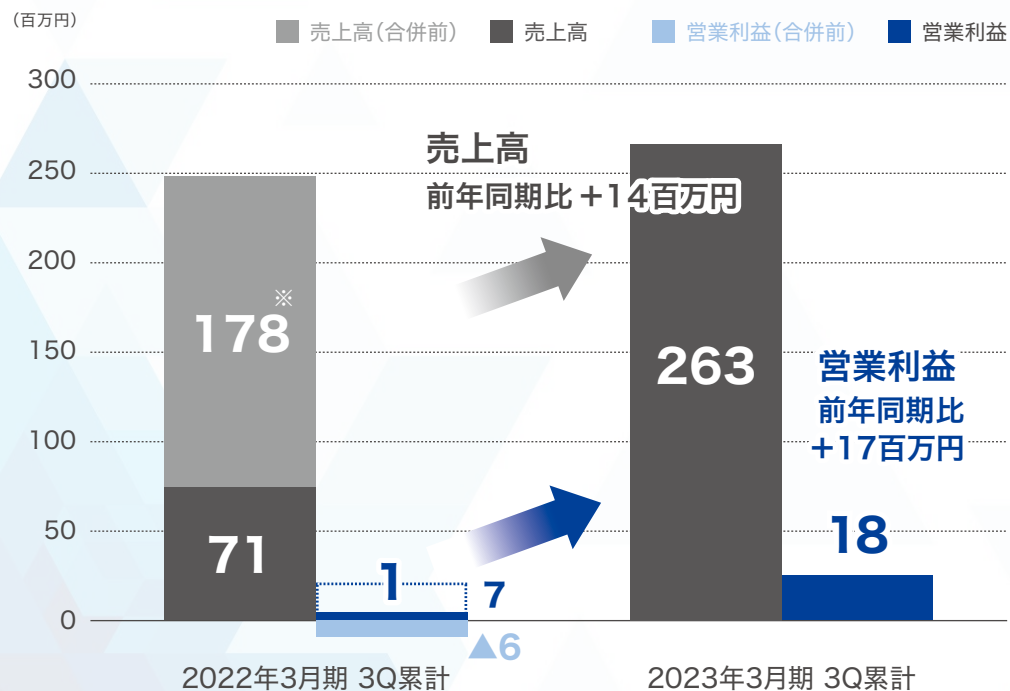
▲ 請負った役務提供を行い、その役務提供の対価を企業より頂く。



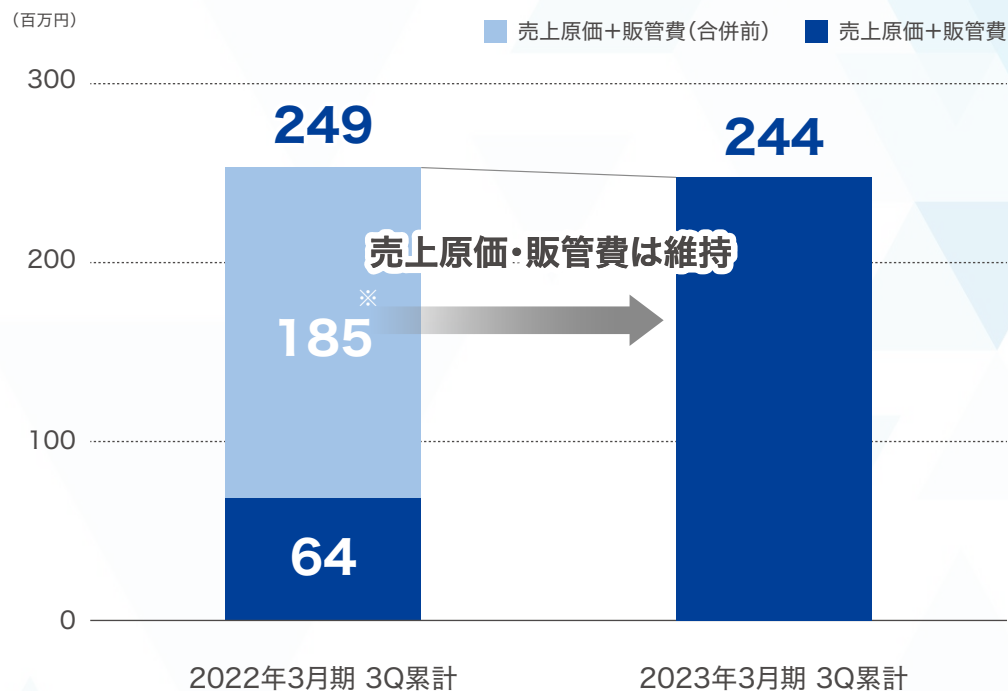
## 採用支援事業 [ 事業構造改革の進展 ]

前期までの事業構造改革により収益体質が改善しており、増収の中で売上原価・販管費の合計額の増加を抑制。

### 売上高・営業利益



### 売上原価・販管費



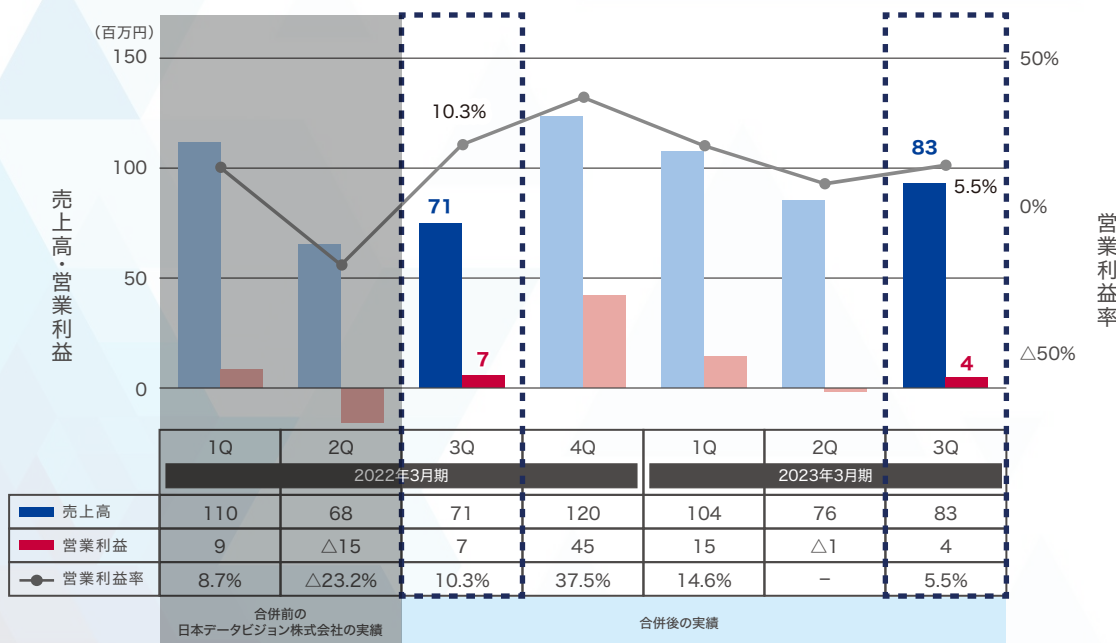
※2022年3月期3Q累計は、個別決算数値を表示しているため、比較のために合併前の採用支援事業連結セグメント実績を加味しています。

## 採用支援事業 [業績]

### 業績(前年同期比)

単位:百万円		2022年3月期 3Q	2023年3月期 3Q	増減額	前年同期比
採用支援事業	売上高	93	263	+170	281.5%
	営業利益	16	18	+2	116.9%

### 業績推移(四半期ごと)



※業績(前年同期比)の2022年3月期\_3Q累計は、個別決算数値を表示しており、合併前の採用支援事業連結セグメント実績は含まれておりません。

### 前年同期比で増収増益

売上高：+170百万円(281.5%)  
 営業利益：+2百万円(116.9%)

- 採用代行サービスが伸長し増収。
- 中途採用案件の受託増により、閑散期の業績を改善。
- 事業構造改革の継続により改善された収益体質を維持。
- 事業拡大に向けた新規ソリューションの展開を準備。

## 1 経営成績・財政状態

- トピックス
- 業績ハイライト
- 業績比較およびセグメント概況
- 財政状態
- 業績予想および配当予想

## 2 セグメント別比較および概況

- メディア&ソリューション事業
- 人材紹介事業
- 採用支援事業

## 3 Appendix

# 外部指標① 大企業製造業 業況判断DI/雇用人員判断DI

業況判断DIはプラス7と、前回予測(プラス9)に対して、2ポイントマイナス。  
3月予想はプラス6と、1ポイント低下する見通し。

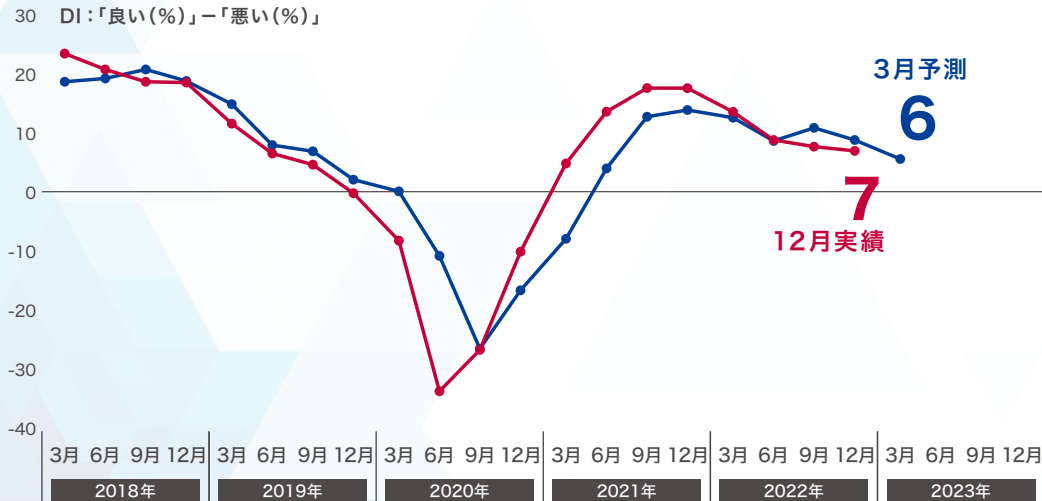
製造業の業績回復が遅れたため実績値が低下、直近の見通しについても概ね横ばい。

雇用人員判断DIはマイナス14。

3月予測はマイナス15で、人員不足感は継続する見込み。

製造業の回復に向けて、雇用における人員不足感が継続している。

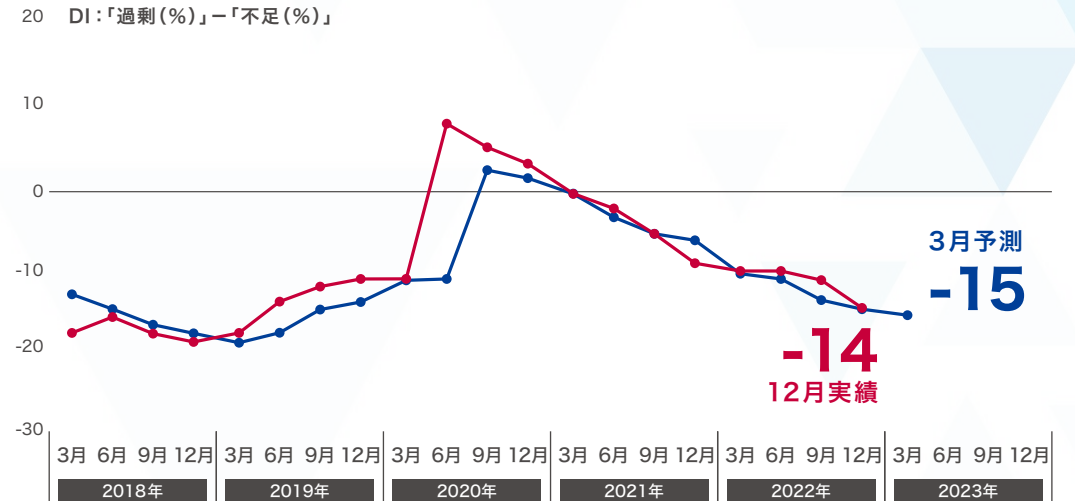
## 業況判断DI(大企業製造業)



回答企業の収益を中心とした、業況についての全般的な判断 <選択肢> 「1.良い」、「2.さほど良くない」、「3.悪い」

出典:日本銀行「全国企業短期経済観測調査(短観)」を元に当社作成

## 雇用人員判断DI(大企業製造業)



回答企業の雇用人員の過不足についての判断 <選択肢> 「1.過剰」、「2.適正」、「3.不足」

## 外部指標② 労働者過不足判断DI / 有効求人倍率

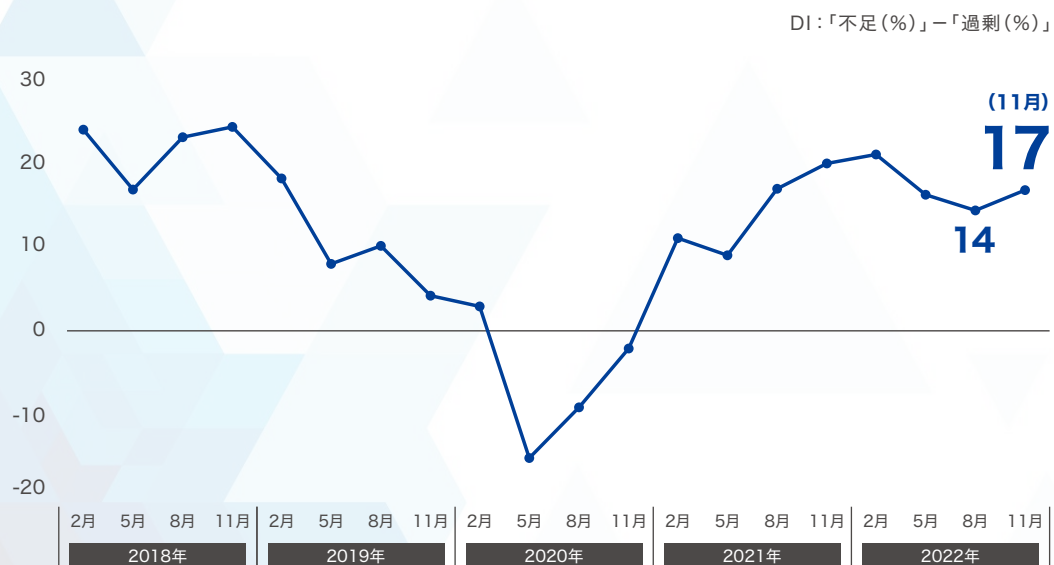
製造業派遣労働者の過不足判断DIはプラス17と、  
8月の前回調査(プラス14)から上昇し、不足感が拡大。

製造業の生産回復に向けて、製造派遣労働者の人員不足感は継続・拡大。

12月の「生産工程の職業」の有効求人倍率は2.07であり、  
「職業計」と比較して高い水準にある。

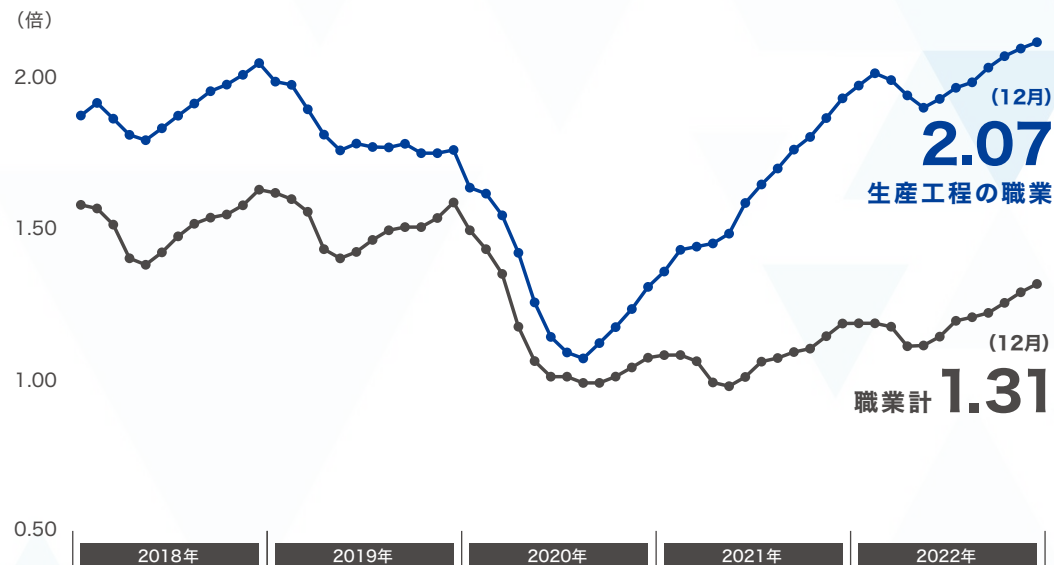
製造業の生産回復に向けて人員の不足が顕著に現れ、  
生産工程の有効求人倍率は上昇。

### 製造業派遣労働者過不足判断DI



出典:厚生労働省「労働経済動向調査」を元に当社作成

### 有効求人倍率



出典:厚生労働省「一般職業紹介状況 職業別労働市場関係指標(実数)」を元に当社作成

## 外部指標③ 完全失業率 / 転職者数

12月の完全失業率は2.5%とほぼ横ばいで推移。

最新の転職者数指標は313万人。  
 前年同期比で+28万人であり、前回結果(4~6月)に続き、高い水準で推移。  
 転職者数の推移から、当年7~9月の転職者数は前年の同期間に対して増加した。

### 完全失業率 ※季節調整値



出典：総務省統計局「労働力調査」を元に当社作成

### 転職者数

※転職者：就業者のうち前職のある者で、過去1年間に離職を経験した者





## 当社 Vision Mission のご紹介

Vision / 私たちが実現したいこと

# WORKS for your dreams!

楽しく生き活きと働き、夢を実現できる社会を

Mission / 日々果たすべき使命

## 人と企業の可能性を具現化し、 幸せを追求する。

### Mission Story / ミッションストーリー

夢に向かって努力する人がいる。世のために尽力している企業がある。

どれだけ時代が変化しても、社会の生き活きとした明日を描くためには、そんな人と企業の存在は尊く、必要不可欠です。

ただ、膨大な情報に囲まれ、正解が見えづらくなっている今。  
その人は、夢の実現に向け、適切な機会に恵まれているのでしょうか？  
その企業は、希望ある未来に向け、ともに挑戦できる仲間に出会っているのでしょうか？  
決してそう言い切れない現状があります。

もしかすると、  
思いがけない仕事に就くことで、新しい扉が開くかもしれない。  
思いがけない人と働くことで、さらなる価値が発揮できるかもしれない。  
思いがけない気づきを通して、まだ見ぬ幸せが広がるかもしれない。

人と企業は、まだまだ、“可能性”に満ちあふれている。私たちはそう、信じているのです。

そんな私たちだからこそ、すべきこと。  
なにかの間、相互を意味する「inter」を名に持つ、私たちだから、できること。

人と企業の間、その真ん中に立ち、可能性を振り起こしていく。  
どちらの幸せも大切に、それぞれの可能性を具体的に、そして、現実のものにする過程にとことん寄り添う。  
これまでもこれからも、これが私たちの使命です。

可能性を、可能性のままにしないため。

その具現化の先にある幸せを描きながら、人に、企業に、向き合います。  
今日より生き活きとした明日を目指して。

この資料は、株式会社インターワークス(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、2023年2月3日現在において当社が取得可能な情報に基づき作成したものです。

※四半期ごとの業績推移を表した資料以外の経営成績を示す資料については、

原則として各々の表記の累計期間の金額を表示しております。

※セグメント情報については、セグメントの一部組替に伴い、組替表示しております。

本資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料にはいわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは、現在における見込み、予測、及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招きうる不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、業界ならびに市場環境、金利、通貨・為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来にリスクイベントが発生した場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資を行う際は、投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。